

# 用語集

|                     |  |
|---------------------|--|
| I.F.A               | インテリアフロア工業会の略称。日本国内のビニル床材メーカー6社による団体。  |
| 遊び毛                 | カーペットの組織から遊離しているパイル糸の毛くず。紡績糸使いのカーペットに多い。時間の経過にしたがって少なくなる。  |
| 安定剤                 | 加工時の熱による塩ビの分解を止め、プラスチックの劣化を防ぎ、品質の安定をはかるために添加される物質。   |
| ウレタン樹脂コーティング        | 防汚性・耐久性を付加するために、床材表面にウレタン樹脂をコーティングする事。   |
| F☆☆☆☆               | ホルムアルデヒド放散量に応じて、建築材料に設けられた区分。JISでは三段階に分かれ、F☆☆☆☆は内装仕上げの使用面積制限を受けないなど、最も安全性の高い区分に分類される。  |
| F <sup>F</sup> ☆☆☆☆ | インテリアファブリックス性能評価協議会が定めた、VOC（ホルムアルデヒド）放散の自主基準により表示される統一マーク。F☆☆☆☆は最上級に区分される。   |
| NFPA                | National Fire Protection Associationの略。米国が定める安全基準で、世界的に権威のある規格。火薬庫での作業を前提にした、導電性に関する高度な基準などが設けられている。可燃性麻酔薬を扱う手術室の床の安全指針でもある。                                 |
| 大引き                 | 最下階床の根太を支える10cm内外の角材の横木。根太に直角に受渡して、大引き受けあるいは、土台に乗せ架ける。   |
| 可塑剤                 | 合成樹脂やゴムなどの高分子物質を、やわらかく加工しやすくするために添加される物質。  |
| カーボン繊維              | 導電性に優れた炭素繊維。床材に練込む事によって、導電性が付加される。従来のカーボン粉末を練込む方法では、粉塵が問題となり、繊維として開発された。   |
| 簡易防水施工              | トイレや厨房など、常時水濡れがあっても水が溜まる事がない場所で、床下や床材の裏に水が回らないように行う施工方法。   |
| 基布                  | タフテッドカーペットのベースとなる織布または不織布。パイルを刺繍するための薄い布を第一基布、カーペットの寸法安定性と強度を得るために裏面に貼付ける生地を第二基布という。第二基布は、ジュートと合繊二次基布の二種類がある。第二基布を貼らずに、塩ビ層をバックリングしてタイル状にカットしたものをタイルカーペットという。 |
| 吸水性                 | 水を吸う性質。例えば、コンクリートブロックやレンガには吸水性がある。   |
| くも                  | カットパイルのカーペットで、一部のパイルだけが他と異なる方向に寝たために色が違って見える現象をいう。   |
| クラック                | 躯体などに生じる亀裂の事。  |

|                |  |
|----------------|--|
| グリッパー工法        | ロールカーペットの施工方法のひとつ。接着剤を使わず釘のついた木（グリッパー）を壁際に打付け、それにカーペットの周囲を引掛けて固定する方法。下地にフェルトや発泡ゴム等の緩衝材を敷込む事でクッション性が向上する。               |
| ゲージ            | タフテッドカーペットの機械のニードルの間隔。ゲージが細かいほど、パイル密度が高くなる。5/32ゲージは、5インチ間に32本のパイルがある事を示す。  |
| 結露             | 壁・天井・床などの表面、あるいは内部の温度が、空気の露点温度以下に下がり、建築材の表面に露を結ぶ事。   |
| 原着             | 繊維の着色方法のひとつで、原液着色の略。多くは顔料を練込んで、原料段階で着色するので耐光堅牢性に優れている。   |
| 腰壁             | 床と窓枠の間、床から大人の腰付近までである壁。車椅子などによる傷から壁を守ったり、装飾的な意味から設えられる。  |
| コーキング          | 物と物の隙間を埋める方法。シールやパテなどの総称。  |
| コーティング         | 液体や粉体を表面に塗布し、表面を覆う事。塗装と同義語。  |
| ころばし床          | 地面またはコンクリートスラブに直接根太や大引きをおいてつくる床。   |
| コンクリートスラブ      | 垂直方向の面荷重を受ける板状のコンクリートの床版。  |
| コンポジションビニル床タイル | JISでは、バインダー含有率が30%未満のものをコンポジションビニル床タイルと呼ぶ。（略称KT）（平成22年10月改定）   |
| 残留へこみ          | 静止状態で上に置いたものの重量によって床材にできたへこみ跡の事。時間経過に応じてへこみ跡が回復するか否かを測る試験方法として、残留へこみ試験がある。   |
| JAIA           | 日本接着剤工業会の略称。   |
| JAS            | 日本農林規格の略称。   |
| JASS           | 日本建築学会建築工事標準仕様書の略称。  |
| JIS            | 日本の鉱工業品や建築資材などに関して、工業標準化のための基準を示す国家規格の略称。  |
| シーミングテープ       | カーペットの継目処理の際に使用するテープ。  |
| 自動床面洗浄機        | 広い作業範囲、簡便な作業性等から日常メンテナンス方法として採用が増えつつある。スプレーにより、水や専用洗浄剤を噴霧しながら目の細かいパッドを使用してパフリングし、表面の汚れ除去と磨き直し、汚水の回収まで一度に行う専用機械による清掃方法。 |

|            |   |
|------------|---|
| シール        | 塞ぐ、封じ込めるという意味。シートとシートの間を接着性のあるもので埋めてつなぐ行為を示す際にも、使用される。  |
| 充填材        | 熱による伸縮を抑え、寸法安定性の向上をはかるために添加される物質。   |
| 水分計        | 物質に含まれる水分量を計測する機械。床材を施工する際に、事前に下地に含まれる水分をきちんと計測する事は施工工事を成功させるためには欠かせない。   |
| ステッチ       | タフテッドカーベットの丈方向に、何本のパイルが刺繍されているかを示す。例えば、8ステッチとは、1インチ間に8本のパイルがある事を示している。  |
| 寸法安定性      | 温度や湿度などの環境変化に対する寸法変化の少ない性能。   |
| 耐湿工法       | 施工中ならびに施工後において、下地に湿気がある場合（DモードグレードⅡa 水分指標8～10%）に行う、下地湿気を考慮した施工法の事。下地湿気のない場合（DモードグレードⅡ水分指標8%以下）の施工法は一般工法という。それぞれの施工方法に対して、製品によって接着剤が指定されている。（DモードグレードⅡb 水分指標10%以上は施工不可）        |
| タフテッドカーベット | 刺繍カーベットの一種。基布にパイル（糸）を機械刺繍によって植付け、糸が抜け落ちないように裏面をラテックスで糊着し、さらにジュートなどを裏地に化粧貼したカーベット。   |
| ドライメンテナンス  | コンビニエンスストア等で採用される事が多いメンテナンス方法。日常管理を超高速ポリッシャーで行うので作業部位を通行止めにする必要がなく、常に光沢度が高いきれいな床を保持できる特長がある。磨き直し（研磨）を主とするので下地に凹凸があったり、作業者が不慣れな場合、床材に損傷をもたらす事がある。またエンボスの強い床材や目地棒を使用する場合には適さない。 |
| にじり・にじる    | 押付けてすり動かす事。キャスターなどによる回転しながら加わる力などをさす。単なる摩擦や荷重とは異なった負荷がかかる。  |
| 根太         | 床板を受ける横架材。一般には、大引きや床梁の上に直角に受渡すが、転ばし床では玉石やコンクリートスラブの上に直接置く事もある。  |
| パイル        | 表面を形成する糸の束。先が丸く輪の状態になったものをループパイル、輪の部分をカットしたものをカットパイルという。同じ素材・規格であれば、ループパイルのほうが耐久性に優れている。  |
| パイル長       | 張力をかけない状態での、基布の表面からパイル先端までのパイルの長さ。  |
| パイル密度      | 単位面積あたりのパイルの本数。タフテッドカーベットの場合は、ステッチとゲージの乗数がパイル密度を表す。   |
| バインダー      | ビニル樹脂に可塑剤と安定剤を加えたもの。その含有率により、JISではビニル床タイルを単層ビニル床タイル、複層ビニル床タイルとコンポジットビニル床タイルの3種類に分類している。   |
| 発泡層        | 気泡を含んだシート層。これを積層して、衝撃吸収性や保温性を向上させる。高発泡の代表例がクッションフロア。  |

|             |  |
|-------------|--|
| 番手          | 紡績糸の太さの単位。パイル糸に用いるメートル番手では、1gで1mの糸を1番手、1gで2mの糸を2番手とし、数字が大きいほど糸は細くなる。他に、綿番手、ジュート番手がある。  |
| BCF         | Bulked Continuous Filament＝長繊維かさ高加工糸の略。カーペット用に開発されたBCFナイロンは、遊び毛や毛玉が出にくく、しかも耐久性に優れる。  |
| ピールアップ      | ピールとは剥がすという意味。タイルカーペットのように、剥がせる事を目的に行う施工方法を、ピールアップ工法という。   |
| 複層ビニル床タイル   | JISの分類より、バインダー含有率が30%以上で複層のものを、複層ビニル床タイル（略称FT）と分類している。（平成22年10月改定）   |
| フリーアクセスフロア  | 電力や通信用の配線スペースを確保するために、床を二重構造とする配線方式。二重床とも通称される。  |
| 不陸          | 面に凹凸があったり、水平でない事。不陸のある下地に施工しても美しい仕上りはのぞめない。  |
| ヘタリ         | 過酷な使用によって、パイルの弾力性が回復しない状態や、床材の発泡層などが薄くなる事をさす。  |
| 防汚加工（カーペット） | 繊維の表面をフッ素系樹脂で覆って、汚れをつきにくくした加工。東りの防汚加工は、撥水性能も有する。   |
| 紡績糸         | 限られた長さの短繊維（ステープル）を引きそろえて、撚りをかけ、無限長のひも状にした糸。遊び毛が出やすい。   |
| ポーラス        | 密度が粗な状態。コンクリートに比べて軽石はポーラスな材質である。   |
| 巻き上げ施工      | 病院等において衛生環境に配慮して、床材を壁面に巻き上げて貼る施工方法。  |
| またぎ貼り       | 基準線をまたいで割付けする施工方法。   |
| 目付          | 使用されているパイル糸の総重量。同じ素材・パイル長であれば、目付の多いほうが耐久性に優れている。   |
| 養生          | 床材に負荷や変化を与えず、そのままの状態を保つ事。床材の癖をとって環境になじませるために施工前に行う養生と、接着剤の硬化を確実にするために施工後に行う養生とがある。施工後の養生期間は、通気性のある養生シート（通気性のないものを使用すると突上げや不具合が発生する）で保護したり、温度調整を行って、急激な温度変化や重量物の往来を避ける必要がある。          |
| 養生テープ       | 床材を施工した後、工事や搬入によって床材が汚れたり破損をうける事のないように養生シートを貼る。この時に、養生シートをとめるために使用するテープ。床材に直接貼る事により、汚染や変色を招く事がある。カーペットは、養生シートの上からでも養生テープによる汚損をうける事がある。使用には注意が必要。他に、コーキングの際に床材を汚さないように貼るテープも養生テープという。 |
| リバース施工      | シート床材を幅継ぎする際に、方向を互い違いにして合わせる方法。  |